











【記入例】

採用者給料査定書

太枠で囲んだところのみ記入する

職員番号は記入しない

年齢は記入しない

高等学校から記入、  
大学は専攻学科まで記入

留年、浪人の期間も  
職歴欄（1行目）に  
入れる

アルバイトか正式  
かを記入する

臨時的任用の場合は  
職名を記入する

非常勤講師で同じ期  
間に2校以上勤務し  
た場合

非常勤講師の場合は  
1週間あたりの勤務  
時間数を記入する

所属コード 番号	学校名	職名	職員番号 氏名
※	※	※	☆→ <b>和歌山 太郎</b> 印
生年月日		昭和・平成47年 8月13日生 歳	
修 学 歴	学校名（専攻学科）	卒業・修了年月日	修学年数
	〇〇高等学校 普通科	H 3年 3月 卒・修	3年
職 歴	学校名（専攻学科）	卒業・修了年月日	修学年数
	〇〇〇大学 〇〇学部〇〇学科	H 8年 3月 卒・修	4年
勤務場所（職務内容）		期 間	勤続年数
浪人		H 3年 4月～H 4年 3月	1年 月
〇〇〇株式会社（正式）		8年 4月～ 9年 4月	1年 1月
〇〇小学校（講師）		9年 5月～ 9年 7月	年 3月
在家庭		9年 8月～ 9年 8月	年 1月
〇〇小学校（講師）		9年 9月～10年 3月	年 7月
〇〇高等学校（非常勤講師週2h）		10年 4月～ 年 月	2年 月
〇〇高等学校（非常勤講師週6h）			
〇〇高等学校（非常勤講師週8h）		12年 4月～13年 3月	1年 月
〇〇中学校（講師）		13年 4月～14年 3月	1年 月
在家庭		14年 4月～14年 9月	年 6月
〇〇中学校（講師）		14年10月～17年 3月	2年 6月
在家庭		17年 4月～31年 3月	14年 月
合 計			24年 月

戸籍上の氏名を正確に記入し、鮮明に押印する

正規の修学年数を記入する

1. 卒業から現在まで切れることなく記入する。
2. 月の途中で採用された場合、その月は採用の方に入れる。
3. 月の途中で退職しその後在家庭の場合、その月は勤務の方に入れる。
4. 月の途中で退職し、その月中に再び採用された場合、原則、その月は採用された方に入れる。  
(別紙「採用者給料査定表の書き方」を参照)

★1枚に書ききれない場合は、2枚目、3枚目に続きを記入する。(合計の欄は、最終の合計のみ記入)

## 採用者給料査定書の書き方

氏名、生年月日を記入、年齢は記入しない

### 修学歴

高校、大学名を記入

修学年数 大学→4年 短大→2年 専門学校→1年～3年

通信制の課程の場合は「通信制」と記入すること。

### 職歴

勤務場所（勤務内容）

※正式採用、派遣、アルバイト等職名を必ず記入すること。

※同時にアルバイト等を複数行っていた場合はどちらか一方を書くこと。

※講師の場合は常勤講師、非常勤講師の別を書くこと。

非常勤講師の場合は週あたりの勤務時数を必ず記入すること。

非常勤講師で同時に2校以上勤務している場合は段毎に記入する。

※仕事をしていない期間は在家庭と記入する。

※行が足りない場合は、複数枚に分けて記入する。

（紙を貼付けて行を増やしたりしない。）

※浪人、留年も職歴に記入する。

### 期間について

途切れないように、重ならないように年月が連続するように記入する。

#### 例1

	勤務場所	期 間
30/4/ 1～30/5/10 A社	A社（アルバイト）	30年4月～30年4月
30/5/11～30/7/31 B社	B社（派遣）	30年5月～30年7月
30/8/ 1～31/3/24 C小学校	C小学校（常勤講師）	30年8月～31年3月

#### 例2

30/4/ 1～30/4/10 A社	A社（アルバイト）	30年4月～30年4月
30/4/11～30/6/20 在家庭	在家庭	30年5月～30年5月
30/6/21～30/7/10 B社	B社（派遣）	30年6月～30年7月

#### 例3

30/4/ 1～30/4/10 A社	A社（アルバイト）	30年4月～30年4月
30/4/11～30/4/30 在家庭	※〔この場合、在家庭は記入しない〕	
30/5/ 1～30/7/10 B社	B社（派遣）	30年5月～30年7月

3部提出（捺印は2部、残り1部は捺印しない）

## 前 歴 査 定 書

発令年月日	学校園名	職名	氏名
平成 年 月 日			

修 学 歴	学校名	卒業・修了年月日	修学年数	生年月日	年齢
	小学校	年 月 日	年	年 月 日生	歳
	中学校	年 月 日	年		
	高等学校	年 月 日	年		
		年 月 日	年		
		年 月 日	年		
		年 月 日	年		

職 歴	勤務場所	勤務内容	期 間	勤続年数	換算率	基準年数
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月

計	年 月
月 数	月
／12	

【記入例】太枠で囲んだところのみ記入する。

## 前 歴 査 定 書

発令年月日	学校園名	職名	氏名
平成 年 月 日			

小学校から記入する

修 学 歴	学校名	卒業・修了年月日	修学年数	生年月日	年齢
	〇〇市立〇〇小学校	S 年 月 日	6年	年 月 日生	歳
	〇〇市立〇〇中学校	H 年 月 日	年		
	〇〇県立〇〇高等学校	年 月 日	年		
	〇〇大学幼児教育科	年 月 日	年		
		年 月 日	年		

平成31年4月1日現在で記入

※アルバイトや在家庭も記入する

職 歴	勤務場所	勤務内容	期 間	勤続年数	換算率	基準年数
	私立〇〇幼稚園	教諭	H 7年 4月～H10年 3月	3年 月	割	月
	在家庭		H10年 4月～H10年 8月	年 5月	割	月
	市立〇〇幼稚園	保育補助	H10年 9月～H11年 3月	年 7月	割	月
	〇〇株式会社	事務アルバイト	H11年 4月～H12年 6月	1年 3月	割	月
	市立〇〇保育所	保育補助	H12年 7月～H14年 3月	1年 9月	割	月
	市立〇〇幼稚園	助教諭	H14年 4月～H20年 3月	6年 月	割	月
	市立〇〇幼稚園	講師	H20年 4月～H22年 3月	2年 月	割	月
	在家庭		H22年 4月～H31年 3月	9年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月

計	年 月
月 数	月
/12	

※ 在家庭の履歴も入れ、つながるように記入してください。

※ 勤務内容欄には任用形態(正式採用・臨時的任用・非常勤・アルバイト等)を記入してください。